

令和 8 年第 5 回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和 8 年 5 月 25 日 (月) 14 時 00 分
- 2 閉会日時 同 日 15 時 02 分
- 3 開催場所 市役所 1 階 多目的ホール
- 4 出席者 教 育 長 菅 野 恭 介
委 員 中 川 和 之
委 員 深 田 英 世
委 員 荒 木 努
委 員 高 橋 みのり
- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名
教育部長 伊 藤 勝
市参事兼こども未来課長 上 坂 智津子
教育委員会次長 小 坂 卓 司
教育総務課長 松 本 富 美
学校教育課長 藤 本 由 佳
生涯学習課長 北 島 悦 乃
総合教育センター所長 三 村 尚 彦
図書館長 桜 井 雄一郎
学校再編室長 中 井 孝 浩
教育総務課長補佐 奥 本 茂 応

地方教育行政組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移ります。

6 付議事項

- 議案第 20 号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について
議案第 21 号 加西市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について
議案第 22 号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について
議案第 23 号 加西市認定こども園評議員の委嘱について

7 質問及び討議の内容

議案第 20 号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

（教育総務課長より説明）加西市学校給食センターの設置及び運営に関する条例第 5 条第 3 号の規定により、加西市学校給食運営審議会委員を以下の 7 名に委嘱したく、委員会の議決を求めます。昨年度までは小学校長は 2 名としていましたが、統合により 3 校が閉校したため、また今後も統合により学校数が減っていくため今回より小学校長を 1 名とさせていただきたいと考えております。なお、委員の任期は令和 8 年 5 月 1 日から令和 9 年 4 月 30 日です。

議案第 21 号 加西市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について

（学校教育課長より説明）加西市教育支援委員会規則第 2 条の規定により、次の者を加西市教育支援委員会委員に委嘱及び任命したいので、委員会の議決を求めます。任期は令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで、委嘱及び任命する者は以下のとおりです。

議案第 22 号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について

（学校教育課長より説明）加西市立学校の児童生徒の結核対策委員会要綱第 3 条の規定により、加西市結核対策委員会委員に次の者を委嘱したいので、委員会の議決を求めます。任期は令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで、委嘱する者は以下のとおりです。

議案第 23 号 加西市認定こども園評議員の委嘱について

（市参事兼こども未来課長より説明）加西市認定こども園評議員設置要綱第 4 条の規定に基づき、令和 8 年度加西市認定こども園評議員を表のとおり各園 3 名ずつ、計 12 名の委嘱をしたく、委員会の議決を求めるものです。任期は令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までです。

8 議決事項

議案第 20 号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第 21 号 加西市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について

原案どおり可決

議案第 22 号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第 23 号 加西市認定こども園評議員の委嘱について

原案どおり可決

9 報告事項

教育長

4 月末から昨日までの内容で報告させていただきます。

4 月 22 日に社会教育推進員の研修会に行っております。社会教育推進員につきましては、原則、今は各町 1 名以上になっていただいております。各町の活動を担っていただいております。ただ、町によっては非常に負担が大きいというご意見をいただくこともございまして、今後どのように社会教育推進員を考えていくかということは検討していくべき事項がございます。

4 月 23、24 日には、近畿都市教育長協議会定期総会が尼崎市で行われました。今年は兵庫県で開催になっておりまして、秋の大会は小野市で開催することになっております。こちらも各市の取組みであるとか、文部科学省が定める新しい学習指導要領に関する説明等々をいただいております。

4 月 25 日に泉小学校の開校記念式典を行いました。一つの節目ということで、子どもも増えて非常ににぎやかな中で開校することができました。これをきっかけに泉小学校は新しく大きく羽ばたいてくれるものと思っております。私も授業を見に行きましたけれども、とにかく子どもが多いので非常ににぎやかで活気があります。そして、教員も非常に多いということで、いろんな方からとても教員が多くてありがたいという声をお聞きいたしております。

4 月 27 日はオーストラリアの短期留学報告会ということで、私は泉中に出席しておりますが、同日に北条中と加西中も発表いたしております。善防中については、その前の週に発表いたしておりますので、この日で全てのオーストラリアの短期留学報告会

が終わっております。みんなパワーポイントで工夫をして全校生に対して発表したということで、今後さらに交流した内容をみんなに共有できるようにオンライン交流等々を行っていきたいと思っております。

4月28日の臨時議会では、統合中学校の建築について予算の承認を得ております。

4月30日は定例校長会がありました。

5月1日は連合婦人会、くらしと生活を守る会の総会が行われました。

5月7日は文化連盟の総会がありました。

5月8、11、12、19日にかしの木学園の開校式がありました。かしの木学園は高齢者の大学校ということで、非常にたくさんの方が参加しておられます。本当にいい学びの機会になっていると思います。

5月8日からタウンミーティングが始まっております。

5月14日は図書館の協議会ということで、図書館を活性化するためにどうすればいいかということ話し合っております、これは2回目になります。また後で出てきますが、図書館に漫画コーナーや恐竜コーナー、受験生応援コーナーの設置等々、いろんな形で今までの図書館に縛られない新たな発想で図書館を活性化していこうということで、いろいろなアイデアを出してきております。

5月16日は加西特別支援学校の運動会が行われました。毎年ですが、子どもたちはとても楽しそうに運動会を行ってございました。教員は入れ替わりがありましたが、子どもたちを一生懸命に見守っていい運動会ができたと思います。

5月18日は兵庫県市町村教育委員会連合会定時総会と研修会がありました。教育委員さんも参加していただきありがとうございました。研修は文部科学省から新しい学習指導要領に関する説明を中心にしていただきました。私も質問したんですけども、学習指導要領が最近認知というものに偏っていて、単に認知だけで実際に子どもたちが学べるかという、なかなかそうはいかなく、やはり習熟というトレーニングが非常に必要なんです、そういう視点があまりないのではないかという質問をさせていただきました。

5月20日から校長先生の面談を行っています。

5月21日は教育委員連絡会を行わせていただきました。

5月23日は北条小学校創立150周年記念式典がありました。これはまた確認しておきますが、150年を超える古い学校というのは北条小学校が稀有な学校ということになりました。

5月23日は加西市青少年補導委員連絡協議会が行われ、たくさんの補導員の皆さんに集まっていただき、子どもの見守り等について話をさせていただきました。

5月24日には加西統合中学校の起工式が終わりまして、いよいよ建築工事ということになっております。

教育総務課長

加西市教育事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について説明させていただきます。加西市教育事業（教育委員会関係）補助金交付要綱に学校環境美化活動支援事業補助を追加するものです。内容につきましては、保護者と地域住民が学校と連携して実施する環境美化活動を支援するという目的にしております。

学校の施設管理は、教育総務課の所管ですが、昨年度からシルバー人材センターに草刈りや伐採をしてくださる方がとても減っていて、学校が必要とするタイミングで草刈りや剪定ができない状況があり、PTAの奉仕作業もなくなっています。昨年6月から作業員を2名雇用してそれぞれ学校を回っていただいています。16施設もあるのでかなり時間を要しまして、学校が来てほしいとき、例えば運動会や学校訪問の前にもうまく当てはまらない学校がたくさん出てきています。

そこを解消するために学校の保護者や学校を利用されている方、また地域住民の方などが学校と連携をして環境整備に取り組んでいただく場合、それに必要となる消耗品や事故に遭ったときのために保険、また実費弁償分の補助することを考えております。金額については1団体に年間10万円とします。保護者や地域の方で立ち上げた団体が環境美化活動をしていただくことで学校の先生の負担を減らしたり、また学校環境がよくなったりということで、学校と連携して学校環境を整えるのにお力いただくことに補助金を出したいと思っております。

教育委員の質問と回答

- ・保険ですが、今は小中学校でみんな入っているんですか。例えば全国PTAの補償制度か何かがあるじゃないですか。北条高校では入っていて、何かあったときはそれでというのがあるんですけど、奉仕作業とかする際に何かあったときの保険というのは利くんですか。

（学校教育課長の回答）各小学校、中学校のPTAで保険は入っております。

- ・例えば奉仕作業をしているときにけがをした場合、まずその保険が利くのかどうかというのは大丈夫なんですか。

（学校教育課長の回答）はい。

- ・保険によっていろいろありますが、例えば1回治療にかかったとき、大体上限が3,000円とか決まっていらないですか。うちの村でも世帯主の方のリストを作ってみんな保険に入っていて、山行きとか草刈りで事故に遭ったときには三千円から五千円までは治療費がきちんと出るというような保険に入ってやっておるんですよ。高齢化になっているので息子さんが市外から帰ってきて参加する人も中にはいますが、

市外では利かないから、あらかじめ1週間から10日前に希望を調べて、その人だけ保険に入れるというようなこともできるんです。PTAでも何かのときには保険が利くというふうになっておるんですか。

(学校教育課長の回答) 作業とかでけがをされたり蜂に刺されたりという場合は、今までその保険を使ったことはあります。

- ・保険に入っていなかったとしたらどうかと思ったんですが、入っておるのだったら安心ですね。

(教育総務課長の回答) 今回はPTAだけではなくて、地域の方と一緒に別団体を作ってPTAの活動ではないという扱いにしたいので、別途、他の保険に加入が必要です。

- ・PTAの人が手伝いますよというのがあったとき、PTAの人は保険が利くんですかね。例えば、PTAの人は大抵参加するじゃないですか。そのときけがをした場合、PTAの人が一緒にやるとしたら、事故が起きたときは保険が利くのかなと。

(教育総務課長の回答) こちらで学校がPTAの活動としてやってくださいと言った場合は利く可能性もありますけれども、そうではなければ多分利かないと思うので、別途、保険に予算を取る必要があると思います。

- ・うちのところでは市外の人は1人1,000円ぐらいやったかな。そこは宣伝している保険屋さんなんですけど、そこできちんとやっています。保険も二つか三つ会社があってそこで頼んだら、保険は絶対に入らないといけないものだから、そこだけやったらいいと私は思うんですよ。去年、うちのところでも土手で5人が蜂に刺されて1人は病院行きました。その人は保険に入っていなかったから、結局、自費でとなりました。本当に蜂はめちゃくちゃ多いんですよ。

こういう補助金が出るのはいいんだけど、保険だけはきっちりやっておったほうが、何かあったときに誰が責任取るかということになりますから、そこが気になったとこですね。もうPTAでは奉仕作業とかなくなっておるから、やるのはめちゃくちゃいいことですよ。

(教育総務課長の回答) していただけたら助かります。

(教育長の回答) これは市が入るというよりも、団体のほうで入ってもらいたいんじゃないですか。あくまでも補助金なので、作業する団体が保険に入っていたくということになると思います。市は団体に対して補助をするということですね。

- ・例えばうちの町の役員さんやったら、小学校に草が生えておるからと作業しても、保険に入っておるから安心してできるんですわ。だから、そういう保険のこともいろいろと確認しながらされたほうがいいと思います。

(教育総務課長の回答) 申請があったときにその団体と話しさせていただいて、もう一度こんなことに使っていただきたいとはお伝えしようと思います。

- ・まずは保険ですよ。そこから入っていったほうが、保険なくてやってけがして、どうやっているのかと言われたときには大変だと思いますから。あと、その中に何人かPTAの人が入っているとしても、PTAのほうでも親は保険に入られているということやから、小中学校のPTAの人は少し安心できるかなというのはあるんですけど、そっちの他の団体の方もきちんと保険のほうはよろしくをお願いします。

- ・全体的な話ですと、今まで奉仕活動とか、学校の先生が草刈りとかをずっとやってきたものを市のほうで人を雇って手当し、シルバー人材センターにも結構な金額を出してやったけれども、そもそもお金をかけてもできない仕組みになっていて、恐らく外注しても莫大なお金がかかるというのは、多分ほかの市町村も同じやと思うんです。これは簡単に言うと費用をかけずに仕組みの中で運用していこうという話やと思うんですけど、逆にうまくいかなかったらもう一回戻って学校の先生がしないといけなくなるので、何としよううまく行ってほしいと思うので、ぜひ運用を頑張っていただきたいなと思います。

(教育総務課長の回答) ありがとうございます。ご協力ください。

教育総務課長

令和7年度加西市教育委員会点検評価についてご報告します。お渡しした評価を見させていただいて、昨年度と同様に教育委員さんにコメントを入れていただきたいと考えています。各委員様に担当の箇所を振り分けしていますので、そこにコメントいただきまして、6月3日までに教育総務課に提出をお願いします。それをまとめて6月の定例教育委員会でお渡しする予定です。また、評価いただいたコメントにつきましては、メールでご返信いただくか、お渡ししている返信用封筒に入れてご返信をいただきますようお願いいたします。

(教育長の補足) この形で点検評価を行いますのは今回が最後となります。次年度からいわゆる評価指標に従って各アクションについて評価をするという新しい教育振興基本計画の方針に基づいて行いますので、この形では今回が最後ということになります。よろしくお願いいたします。

学校教育課長

小・中・特別支援学校の教育活動について報告いたします。4月7日の始業式以来、約2か月半が過ぎようとしています。その間に学校参観日やPTA総会、中学校の部活動の親善大会や1年生の宿泊研修、3年生の修学旅行、小学校では賀茂小学校、下里

小学校、九会小学校、富合小学校、泉小学校で5年生の自然学校を終えました。5月16日には、加西特別支援学校の運動会が行われました。また、小学校の水泳授業を市内の民間事業に委託し、専門的な水泳指導と教職員の負担軽減を図ることなどを目的に、北条東小学校と泉小学校の全児童が年間5回の授業を受けています。そして、統合泉小学校では、一体感がじわじわ感じられ、子どもたちも教職員も地域も根づいてきています。非常に慌ただしい4月、5月ではありますが、毎日の授業はもちろんだの学校も順調に年替わりのよいスタートが切れていて、落ち着いた学校を送られています。

また、今秋から教育委員計画訪問が始まります。どうぞよろしくお願いいたします。

教育委員の質問と教育委員会次長の回答

- ・慌ただしい4、5月が終わって順調に進んでいるということで安心しました。また、来週からトライやるウィークが始まります。特色があるような今年取り組みとか事業所とかがありましたら、教えていただけたらと思うんですけども、特にはないですか。例年どおりということですか。

(回答) そうですね。ほぼ例年どおりですね。

- ・子どもたちの活動の様子を見させてもらったり声かけをしたりしたいと思っています。

総合教育センター所長

令和8年度総合教育センター教職員研修講座について報告いたします。昨年度末のアンケートでいただいた意見を参考にしながら、教職員のニーズに応える講師や教育現場を取り巻く課題に応じた研修内容を計画しています。教職員の授業力、教師力や専門性等の向上と学校組織力の向上を狙いとして43講座を計画しました。

教育講演会はリーディングスキルトレーニングや著書シン読解力で有名な新井紀子氏を講師に迎え、「シン読解力で育むこれからを生き抜く力」をテーマに準備しました。日時は7月31日に決定しております。教育委員さんには予定に入れていただき、可能であれば参加いただければと思っています。

8の教育経営講座では、元加西教育長でもある高橋元市長に講師をお願いし、「目指す加西の教育」をテーマに今後の加西市における教育ビジョンや組織運営、とりわけ人材育成のノウハウ等について講演いただきます。16、17のRST授業実践講座では目黒朋子氏を講師に迎え、リーディングスキルトレーニングを実践的に学びます。ほかにも多くの研修講座を開設しましたが、今年度も教職員の現状に向き合いニーズに応えられるよう工夫を重ねながら、効果的で充実した研修講座を運営していきます。

教育委員さんの机の上に令和7年度年報を封筒に入れて配付しております。ご一読いただきご指導いただければ幸いです。

教育委員の質問と回答

- ・教育講演会の新井先生の講演に行かせていただきたいなと思っているのですが、先生の話で終わるのかわからないんですが、加西市内の取組の状況みたいなことはここは違う場所で何か発表するというのはあるのでしょうか。

(教育委員会次長の回答) 日付は忘れましたが、市の担当者会を計画しております。それまでも報告はもらうのですが、昨年度も3度ほど担当者会をしましたし、今年度も1回目は報告みたいな感じで確認しながら、また先行しているところの事例なども紹介しながら、トレーニングの部分を充実させていこうと思っています。特に、今年度につきましてはいかに授業の中にそれを組み込んだり、教師の授業の一端となれるような仕組みだったりをつくりたいなと考えております。

- ・すごく力がつく取組でありながら、本当に地道なことのようには本を読ませていただいて、これまでお話していただいた流れで、積み上げたコツコツが力になっていくのをとても期待しているので、また機会があったらいろいろ教えてください。

(教育長の回答) リーディングスキルトレーニングについては、校長先生からも全体的に子どもたちの雰囲気、例えば朝、単純に本を開けるとか、そのページのところをすぐに見つけることができるとかいわゆる認知的な負荷を取り除く取組については、かなり形として見えるというような報告もいただいております。あとは一番大きいのは授業ですので、いかに授業の中で単にそれを取り入れるというよりもいい授業をするかということに対してこれをうまく使えるかということが大きいかなと思いますので、そこらのところが今、小坂次長が言われたように担当者会でお互いに実践発表、実践を伝え合っているものにしていくという機会にできればと思っております。よろしくお願いいたします。

- ・この講座を見ていたら、研修の形態は集合とオンラインとアーカイブの三つに分かれているんですけど、何を基準にアーカイブやオンラインなどと決められているのか疑問に思ったんですけども。

(総合教育センター所長の回答) より多く受けていただきたいものに関してはアーカイブを選びます。オンラインは講師の要望によるところが大きいです。

- ・青田先生はメキシコからですか。

(総合教育センター所長の回答) メキシコとつなぐと講師側は深夜なんですけど、研修

講座のためだったらということで無理をお願いしています。

- ・裏面の生成 AI 利活用研修というのは、今かなり AI になってくるから聞けるので、これをアーカイブでやられて、今の AI の技術はどこまでというのもみんなに知って情報交流したほうがいいんじゃないかなと思ったりしますが、このアーカイブは考えていないですか。

(総合教育センター所長の回答) アーカイブではなく、実際にコンピューターを操作しながらの研修になります。

- ・コンピューターというのは、例えばチャット GPT のアプリを用いて何かやったりするんですか。例えばこのキーワードを三つぐらい入れて挨拶文とか、そういうような言われた文章を作るというふうなことをやるか。それとも、授業に組み込まれるこのキーワードを入れてこういうふうな文章でやり方をすると、授業はこう小中学生にわかるようなそういうふうなものを作るというふうなものなんですか。素人目からですけど。

(総合教育センター所長の回答) 授業というより校務のために生成 AI を生かすことを中心に考えております。

- ・授業ではないんですね。

(総合教育センター所長の回答) そうですね。

(教育長の回答) 生成 AI に関しては、どちらかというと生成 AI の危なさとか、特に AI を使ったものというのは真実でないものが含まれますので、それを一度、全部確認しなければいけないわけですね。ですので、そういうことが必要だよと、要は子どもたちが自分で例えば適当にキーワードを入れて作ってそれらしい文章ができたとしても、それが本当に正しいかどうかいうのを自分が見抜く目がなかったら、実際は活用ができないので、そういうふうな形の授業というのは今後、必要になってくるかもしれませんが、そうすると多分、特別な講師を招いて行わなければいけないので、今後の課題かなというふうに考えております。

- ・今回はここに書いてある校務文書等を中心にやっていくということですね。結局は働き方改革のことなので、なおさらたくさんの教職員の方に知ってもらうほうがいいんじゃないですか。

(総合教育センター所長の回答) 実際に操作が必要になるので、アーカイブは難しいと思うんです。

- ・僕もどんなのを見ていないから、そこまで突っ込んだことは言えないんですけど、

わかりました。

図書館長

加西市図書館漫画資料収集等に関する方針の策定について報告します。先ほど教育長のご報告にもございましたように、図書館では現在、来館者数の増に向けて新たな取組みの検討を進めているところでございます。今日は先ほどのお話しにもあったとおり新たな取組みの検討という内容についてごく簡単ではございますけれども、ご紹介をさせていただければと思っております。

まず、総合計画の KPI であります図書館 1 日当たりの来館者数について、令和 7 年度実績は 549 人となっております。後期計画の目標である 603 人の達成に向けてさらなる取組みが必要な状況です。加西市立図書館ではこれまでもイベントや企画展示等々の工夫に努めてきましたが、従来の延長線上だけでは大幅な来館者数増は難しいことから、利用者層に意識した新たな取組みを進めたいと考えています。先ほど教育長からのご報告の中でいろいろなアイデアを出し合っているというふうなところで図書館協議会というお話があったんですけれども、図書館協議会という別の組織がございしますが、それとはまた別で担当者等々、教育長を含めてアイデアを出し合う研究会的なところで検討をしております。

具体的には 3 点ございまして、1 点は漫画コーナーの充実です。漫画は文字と絵を組み合わせることで読むことができ、特に子どもが本に親しむ入り口として有効です。新たに漫画資料収集等に関する方針を定め、貯蔵を増やし、子どもから大人まで幅広い世代の来館動機につなげたいと思っております。2 点目は恐竜コーナーの新設です。恐竜の卵の化石などと関連図書を組み合わせ、子どもたちが見たい、調べたいと感じる展示をすることで小中学生や親子連れの来館を促進したいと考えています。3 点目は受験応援コーナーの新設です。新たに自習スペースを設け、進路や学習に関する資料等を充実させ、中高生が図書館を利用するきっかけをつくりたいと思っております。これらの取組みは実施して終わりではなく、来館者数や貸出状況、利用者の反応を確認しながら PDCA により改善していきたいと考えております。図書館として学びと交流の拠点の機能を高め、目標達成に向け取組んでまいりたいと考えているところでございます。

教育委員の質問と回答

- ・ 例年と同じ予算の中でこういう取組みや企画を工夫してやっていただくということで、是非とも頑張っていただきたいと思います。ただ、前に少しお話を聞いたとき、図書館がアスティアかさいの中に入っているということをそもそも知らない市民がかなりいるのではないかと話されていて、実際にいるというのも聞いています。ア

スティアかさいの中に図書館が入っているということは市民自体でも知らない方がいっぱいいるのであれば、なおさら市外の人には知らないでしょう。

姫路方向からイオンの信号で待つと、イオンに何が入っているかわかる看板が三つ立っています。アスティアかさいの信号で止まった時にせめて外観から図書館というのがわかるぐらいにはしてほしいなということです。それは、アスティアかさいを管理している会社のことだと思うんですけども、ぜひその辺を要望していただきたいと思います。

アスティアかさいで一番奥に入っているのは恐らく図書館で、次が病院ですね。アスティアかさいの中に病院があり、眼科があるのがまずわからないと、そもそもあそこの看板を出している意味がないです。外から見ていると、図書館、病院、それから子どもの室内の遊び場があることさえもわからないんですよ。その辺を管理している会社と相談しながら、外観あるいは信号で止まったり、車で横を通ったりしたぐらいでも、中に何があるのかわかるようにはしていただきたいです。そのことによってもともと来店者が少ない店舗や事業所にもプラスの影響になります。図書館単独ではできないと思うんですけど、何とかその辺を検討していただきたいなと思います。

(図書館長の回答) 管理会社のほうとはそのように協議のほうをさせてもらえたらと思っております。市内の市民の皆様によく来ていただくことはもちろんですけども、これだけの目標を達成しようとすれば、近隣の市町村のほうからも来ていただかないとなかなか難しいのかなというふうなところがあるのかなと思います。場所がわかりやすい看板の設置は必要かなと思いますので、話し合いをさせてもらえたらと思います。

(教育長の回答) 私も協議に参加させていただいているんですが、従来は図書館の本の中に漫画を大きな割合で入れるということにつきましては、抵抗を持たれる方もいると思います。しかし、今、全体的に読書離れが顕著に進んでおり、TikTokとかインスタグラムとかスマホで全部済ませてしまうので、本を読みません。でも、それが結局は将来的に読む力を弱めてしまうということになります。漫画であっても文字と絵が一緒にあってその意味がわかること、むしろ非常によい教材になるという意味でも、大きな活字ばかりの本は難しい子どもたちも、幼児が絵本から入ると同じように漫画からであれば参加できるということで、そういうふうにできればと考えております。またいろいろご意見をいただければと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

今、恐竜の卵というのが話に出ましたが、泉小学校には株式会社千石の前社長さんが中国で買ってこられた非常に貴重な恐竜の卵の化石がございます。できるだけ多くの子どもたちもそれを見られるような展示もしていきたいなと思っております。

10 教育委員の提案とその他

- ・今日もそうですが、また 30 度を超えています。年々暑くなってきているから熱中症対策は何か考えていらっしゃるのかなと、それをお聞きしようかなと思いました。早いこと熱中症対策を進めたほうがいいんじゃないかなということを私から提案させてもらったんですけど、どうですか。

(教育委員会次長の回答) まず小学校については、登下校における熱中症対策としてはバスが走るというのと、あわせてバスに乗らない子に対してはランドセルと体の間に挟み込む冷却材みたいな物を配るようにします。日中のそれ以外の部分については啓発活動が中心ですけれども、何よりよく言われるように暑熱順化を高めることが一番大事なので、食事をとらせること、お茶を持たせることといった家庭のほうでしっかりするということについての文書をもう先週末に出した学校もあり、早め早めの対策は打っております。

- ・誰もがいつでもお茶を飲めるような物を各学校に買ってあげれば、製氷機もあるし、お茶の葉も高くないから、教育委員会が予算をつけてやれば、水分が一番大事だと思うので、いつでも飲めるような体制にしたらいんじゃないかと思いました。今、見ていたらもう今日ぐらいで夏だから、ひょっとしたら 5 月下旬から 11 月に入るまで多分暑いと思うので、とりあえず早いこと前倒しでもいいから動かれたほうがいいんじゃないかと思ったんです。水分は授業中でも絶対必要です。教室も見ていたらクーラーかけている部屋もあれば、窓だけ開けたりしてクーラーがかかっていない部屋とか、その辺で子どももみんな全然違うから、授業中に少し気分が悪いと違うかとなったとき、すぐに水分が取れるような体制をつくったほうがいいんじゃないかと思うんですけど、どうですかね。

(教育委員会次長の回答) 小学校については、いわゆる置き茶という自分が持ってきた分がなくなったときのためにペットボトルなどを預けておいて、自分の持ってきた水筒の分がなくなったら、それが飲めるようにという仕組みが以前からあります。

- ・できたらぬるい物を飲ますよりも、少しでも冷たい物を飲ませたほうがいいんじゃないかなと思います。今年はずりあえず水分補給をしっかりとやっていって。

(教育委員会次長の回答) 口に入るものを学校が提供するというのは、衛生面だけでなくいろいろな面ですごく慎重にしないといけないので、昨年度も熱中症対策で例えばタブレットみたいなのを配ったらどうかというのは校長会とも相談したんですけど、それはちょっと難しいと判断しました。

- ・市販で売っているお茶の葉はあかんのですか。例えば、大きな容器にお茶葉を入れて、水を入れて、氷を入れてというのは衛生面で悪いんですかね。

(教育委員会次長の回答) それを学校の教師がするということですか。

- ・教師じゃなしに、お茶ぐらいだったら4、5、6年生でもできるやろうから、みんなで当番制にしておけば、先生に入ってもらってもいいと思うけど、先生の負担もそんなにかからないので、みんなで命を守るのやったら生徒も児童もするんじゃないかなと思うんですけどね。

(教育委員会次長の回答) 基本はその日の朝、自分の責任で持ってくるという指導を徹底するのが何よりだと思っています。

- ・この暑さだし飲む量も一人ひとり違うから、ひょっとしたら汗かきの男の子やったら速攻終わってお茶がなくなった場合、どこからやというふうになると、それこそまた危ないと違うんじゃないかと思います。それだっただけでいつでも大きな容器を置いておき飲んでもらうほうが、安全なんじゃないかなと思うんですけどね。私の案ですけど、何せ水分はしっかり取らないといけませんから。

(教育委員会次長の回答) 大きな水筒を持ってきたさいでもいいし、あくまで自分や保護者の責任もありますので、その辺りは守ってもらって、危険が伴うことは避けたいなと思います。

- ・みんな当番制で作ったほうがいつでも飲めるから、より安全じゃないかなとは思いますが、ないよりはあるほうがましですし、大分違いますからね。

(教育長の回答) 基本、お茶に関しては必要な量を家庭で持たせていただくのが、私は原則だと思いますね。今、アレルギー等も非常に多いので、学校で提供したものが果たしてその子に対して大丈夫かどうかというのは、なかなかわからないので、よくわからないまま飲んで大変なことになるということは、当然考えられます。基本は家から持ってきていただくということです。夏が早くて、持ってくる量がなかなか間に合わないというようなことが現実には生じるということであれば、それは考えなければいけない部分も出てくるかなと思います。

ただ、教室はエアコンが効いておりますし、今は指標がございましていわゆる熱中症になるような指標の場合は外に出ませんので、子どもたちが今までと比べて暑い過酷な環境で授業をしているということはないんですね。ただ、もし5月から毎日30度を超えるということであれば、期間が長いということはあるんですが、少なくとも様子を見させていただきということと、子どもたちの口に入るもの、特にお茶のようなものは一旦、全部煮沸して、その後に冷まして飲むんですが、複数の子が飲むとなると、またそこはそれでいろいろ問題もございますので、まずはご家庭

でその分を用意していただいて、どうしても無理な場合は直接、学校とご相談していただくのが一番いいかなと思います。

- ・熱中症の怖さをよく知っていますから。特に子どもなんて、もうちょっとでも手遅れたら死んでしまうから、そう思ってちょっと言ったんですけどね。

- ・この暑さだから、去年のデータでというのはあまり考えないほうがいいと思います。今年は多分、去年よりももっと暑いと思います。そして、お茶があかんというなら、水でもいいかと思いますが、緊急になったとき手遅れというのが一番怖いですから、たしかマニュアルがあるんですよね。先生方にはそれを徹底してやってほしいと思います。本当に熱中症は怖いですよ。

(教育委員会次長の回答) 水分補給だけでなく、いろんな面での熱中症対策というのは昨年度以上に協議させていただきます。

- ・統一性を持たせないといけません。例えの話ですけど、同じ日にあの教室ではクーラーがかかっていたのに、あそこではかかっていなくて倒れたとか言われると、子どもたちは守ってあげないといけないから、そういう差が出ると余計に大問題です。環境や水分補給などその辺は去年よりももっと注意してやっていかれたほうがいいと思います。5月の今日で30度を超えているというのはもうおかしいです。このまま行くと今年の予想ではひょっとしたら40度を超える日が多くなるというようなことも書いてあった気がしますし、これが5、6年と進むとそれこそ50度の世界に入ってしまう恐れがあるので、早いことやらないと思います。とりあえず子どもたちを守ってあげるような努力をよろしくお願いします。

(教育委員会次長の回答) わかりました。

1 1 今後の予定について

- ・令和8年第6回定例教育委員会 6月25日(木) 14:00～4階 多目的ホール
- ・令和8年第7回定例教育委員会 7月23日(木) 14:00～4階 多目的ホール

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和8年5月25日

出席委員

.....

.....

.....

.....

.....

職 員

.....